

平成25年本山報恩講のご案内

11月21日(木)

午後2時 逮夜(御開扉)
午後2時40分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：谷口亮昭
(兵庫県・西教寺)

11月22日(金)

午前7時 晨朝
午前10時 日中
午前10時30分頃 御堂法話
午後2時 逮夜
午後2時30分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：谷口亮昭
(兵庫県・西教寺)

11月23日(土)

午前7時 晨朝
午前10時 日中
午前10時30分頃 御堂法話
午後2時 逮夜
午後2時30分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：鳥羽知安
(神奈川県・一向寺)

11月24日(日)

午前7時 晨朝
午前10時 日中
午前10時30分頃 御堂法話
午後2時 逮夜
午後2時30分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：鳥羽知安
(神奈川県・一向寺)

11月25日(月)

午前7時 晨朝
午前10時 日中

午前10時40分頃 御堂法話
午後2時 逮夜
午後2時40分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：佐々木安徳
(香川県・専光寺)

11月26日(火)

午前7時 晨朝
午前10時 日中
午前10時40分頃 ご親教
午前11時頃 御堂法話
午後2時 逮夜
午後2時40分頃 御堂法話
午後4時 初夜
●布教使：佐々木安徳
(香川県・専光寺)

11月27日(水)

午前7時 晨朝
午前10時 日中
午前10時40分頃 御堂法話
午前11時20分頃 表彰式
午後0時頃 一般お齋
午後2時 逮夜
午後3時20分頃 御堂法話
午後4時頃 初夜
午後5時頃 お内仏報恩講
●布教使：佐々木安徳
(香川県・専光寺)

11月28日(木)

午前7時 晨朝
午前10時 日中(御開扉)
午前11時頃 御堂法話
午前11時30分頃 法中お齋
●布教使：佐々木安徳
(香川県・専光寺)

*法要は各座とも約40分、御堂説教は各講座とも約30分を予定しています。
*法要期間中の帰敬式は、御堂説教後に執り行います。事前のお申し込みが必要となりますので、真宗興正派宗務所までお問い合わせください。

胸震わせた一瞬一瞬が
力強い写真でよみがえる。

宗祖親鸞聖人 七十五回大遠忌法要 記念写真集



宗祖親鸞聖人
七十五回大遠忌法要
記念DVD
荘厳な空気が、声明の調べ、
参拝者の声。
歴史的大法要の動画記録！

記念写真集
+記念DVDセット 5,000円のところ
4,000円(税込)

33人の本山布教使、 珠玉の法話集

法話集

『やっぱり 阿弥陀さん』



1,260円(税込)

第44号

平成25年
11月

本山 だより

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル

TEL075-371-0075(代) FAX075-371-8509

真宗興正派ホームページ <http://www.koshoji.or.jp>

ひと口法話

「竹杖の跡」

祖父が好んで描いたのが、親鸞さまが雪中を歩む「草鞋竹杖」の図でした。今まではこのお姿の意味を、それほど意識していませんでしたが、最近人生の実相ではないだろうかと思うようになりました。

人間は何ひとつ余分なものを持たずに生まれてきます。雪原は太古の昔も現在もその光景は変わることがありません。また歩む道は雪中にあって肉眼では見ることはできないのです。それでも人間は止まることなく歩き続けなければなりません。

雪は取り除き続けて…。しかし、その努力にも限度があります。年齢、健康、環境、才覚、等々。

この生命の厳しい現実を先輩の方々の姿の中から、また我が身の上から受け入れざるを得なくなったとき、親鸞さまが竹杖一本を共に歩む一幅の図から一つの言葉が聞こえてまいりました。「我が前に得道の人あり」と、これからは私自身、道を探し求めて生きてきた人生(自問自答)から、自らの弱さに素直になり、親鸞さまのお言葉を杖として(自問仏答)日々を楽しみたいと思っています。

無明長夜の燈炬なり 智眼くらしとかなしむな 生死大海の船筏なり 罪障おもしとなげかざれ (正像末和讃)

親鸞さま、ありがとうございます。南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏

本山布教使 佐々木安德

報恩講

「報恩講」は宗祖親鸞聖人のご命日をご縁とし、90年にわたる聖人のご苦勞を偲び、そのご苦勞を通じて、私たち一人ひとりがいまお念仏に出遇い、生きる拠り処を教えていただいた、そのご恩に感謝する法要です。聖人が顕かにされたまことのみ教えを聞信し、共にお念仏を申す身となっていくことを確認することが「報恩講」の大切な意味です。聖人のみ教えを仰ぐ私たちにとって、1年を通して最も大切な法要であるといえましょう。

聖人は平安時代末期の承安3年(1173)春に、京都の南、日野の地でご誕生になり、御歳9歳で東山青蓮院にてご出家得度され、その後、比叡山で学問・修行に励まれました。やがて聖人は、29歳で山を下りられ、法然上人との出遇いを通して、お念仏のみ教えに帰依されました。聖人は、90年のご生涯を閉じられるまで、もっぱらそのお念仏のみ教えを説き示され、お伝え下さいました。

聖人のご命日は、弘長2年(1262)の11月28日です。本山興正寺では、毎年11月21日から28日まで「御正忌報恩講」をお勤めいたします。いまこの報恩講をご縁に、共にお念仏のいわれを正しく聞かせていただきましょう。

総長あいさつ

今年6月に宗務総長になりました龍村豊雄でございます。

ことのほか厳しい暑さとなった夏も過ぎ、ようやく爽やかな季節となつてまいりました。

いよいよ本山興正寺では、11月21日より28

日まで「報恩講」が勤まります。「報恩講」は宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏のみ教えにお出遇いしたよろこびを有り難く感謝させていただく法要でございます。

ご門主様を先頭に、私共新たに任命された内局一同、皆さま方を心を込めてお迎えますよう、準備を整えてまいりました。どうぞ、お揃いで「報恩講」にご参拝下さいますようお願い申し上げます。



宗務総長	龍村豊雄(京都府)	浄圓寺住職
財務部担当参務	津田正慎(滋賀県)	光明寺住職
総務部担当参務	金倉崇文(香川県)	円龍寺住職
教務部担当参務	大路秀道(兵庫県)	教善寺住職